

第15回 環境気象学コロキウム

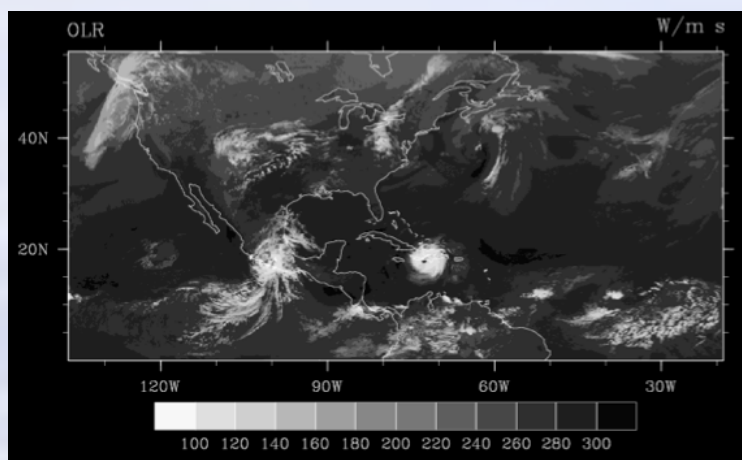
下記の通り、第15回環境気象学コロキウムを開催いたします。今回の話題提供者は、9月に本学の環境システム学科・環境気象学分野の助教として着任された 鈴木パーカー 明日香 先生です。明日香先生には、自己紹介も兼ねて、これまでアメリカや日本で行ってきた地球温暖化に関する研究内容をお話して頂きます。学部1年生から大学院生まで、環境気象学に興味をお持ちの方は、ぜひご参加下さい。多くの方々のご来場を心よりお待ちしております。

地球温暖化研究の最前線 ～領域気候モデルから見えてきたこと～

開催日：2015年10月14日（水）18:00-19:30

会場：アカデミックキューブ4階414室

話題提供者：鈴木パーカー明日香先生（環境システム学科助教）



講演概要：

IPCC第5次報告書によると、「気候システムの温暖化は疑いの余地がない」状態にあるとされている。温暖化による影響、例えば、台風などの気象の諸現象の変化や人間社会への影響について活発な研究が続いているが、明確でないことが多い。

私はこれまで、領域気候モデルを用いて地球温暖化の影響評価を行ってきた。評価の対象は、熱帯低気圧や梅雨前線、そして熱中症リスクなどである。本発表では、これまで行ってきた温暖化リスク評価の結果を紹介するとともに、地球温暖化研究がどのようにして行われているかお話しする。